

2020 旭カップU11大会要項 (横浜市18区代表U11大会予選)

- 大会名 2020 旭カップU11 (横浜市18区代表U11大会)
- 主旨 1 旭区サッカー協会少年委員会加盟団体による5年生主体のカップ戦
2 優勝チームには『横浜市18区代表U11大会』出場権利を与える
- 主催・主管 旭区サッカー協会 少年委員会・旭区サッカー協会少年委員会 運営部会
- 開催日 9月21日(祝)・22(祝)
- ※1 大会開催期間(終了目標日程)を設定(従来方式の反省から)
- ※2 チームごと予定表(参加可否)を活用するが、原則不可の条件として以下の通り
・学校行事(該当選手数は不問)・市、県大会
- ※3 新型コロナ禍における開催において、上記2日間限定とする
- 会場 神明台グラウンド
- 参加費用 3000円※1試合で敗退したチーム2500円
- 競技規則 1 試合人数は8人制とする
2 試合時間は前後半各15分とする。(5分前本部集合)
3 トーナメントにおいて同点の場合PK戦にて次試合を決定する(3人制)
4 決勝戦に限り延長戦を実施(5分-5分)
5 GKの交代時を除き主審への通知・許可が不要な交代エリアからの『自由な交代』
6 交代の人数制限はない。また一度フィールド外に退いた選手の再出場を認める
7 その他日本サッカー協会競技規則(8人制)に則る
- 審判 審判服着用の上、審判割り当て表の通り(3人制)
参加チーム数が少ない場合：副審を当該チームより選出し対応させる(180512会議)
その他【運営規則】に則る
- 表彰 優勝、準優勝 各チームより優秀選手を表彰(2020年度3位表彰なし)
- 駐車 1 柏町グラウンド：3台 神明台グラウンド：4台
2 駐車場内での事故並びに破損においては区協会としては関与しない
3 柏町G周辺道路への路上駐車厳禁(応援保護者への徹底を願います)
- 中止連絡 幹事より試合開始1時間30分前には通達
- 注意事項 試合中又は往復途中で事故があった場合は、当該チームが責任を持って対処する。
ゴミ、吸い殻などの後始末は、各チームの責任において清掃すること。
喫煙は指定された場所をお願いします
両試合会場共、日よけ、雨よけがありません。工夫願います。
- 柏町注意 柏町グラウンド下の須磨郷谷公園使用、水道等の使用は厳禁とする
柏町グラウンド入口付近での車の乗り降りは厳禁。送迎だけの場合でも一度門の中に入って行くこと
- 神明台注意 神明台Gの開門は時期によって異なります。幹事通達時刻を確認の願います。
尚、会場門付近での路上待機はご遠慮願います
神明台Gは草地でのボール、スパイク使用は禁止。W-UPは幹事に確認願います
- 大会結果 各幹事チームは試合終了後、運営部迄結果報告をお願いします。
- その他 特記無き事項が発生した場合は、3役会にて決定
注意事項の履行違反が発覚した場合は、臨時代表者会議にて処置を対応する

2020 旭カップU11大会要項 2 (新型コロナ禍対策)

・はじめに

2020 旭カップを開催するにあたり、以下のこと代表者会議にて確認

新型コロナ禍での開催である

「感染防止対策」において十分な準備、対応を各チームの責任において行うこと

その上で「感染防止対策」に完全、万全はない「感染へのリスク」を承諾した上で各チームの責任において参加する
上記3項目が骨子となります。

具体的な対策、対応は「YFA4種委員会」より配信された以下の内容を参考に願います

サッカー活動の再開に向けたガイドライン (2020年7月4日)

一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会

《 感染拡大防止対策 》

①健康管理の徹底

以下の事項に一つでも該当する場合は、当日参加しないこと(必ず検温のうえ参加のこと)

- ・平熱を超える発熱
- ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状・だるさ、息苦しさ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②集合時、試合前等、体調の確認を実施

③健康観察(体温測定、体調チェック)は指導者、保護者も同様の対応をとること

④健康チェックシートの提出

- ・健康チェックシートを記入し、活動責任者へ提出すること
- ・風邪の症状や発熱が4日以上続いたり、だるさや息苦しさがある場合は参加禁止とし医療機関への受診等対応のこと

⑤マスクの持参・着用の徹底について

- ・練習・試合等への行き返りは、飛沫防止の観点により、マスクを着用する。
- また、近距離での会話時はマスクを着用し、大声での指示・応援等は避けること

⑥「3つの密」の回避の徹底

- ・飛沫感染と接触感染に十分注意し、感染要因である三密(密閉・密集・密接)の状況を作らないように配慮すること
- ・車での移動時の換気、空間遮断による濃厚接触を回避すること
- ・多くの人が密集する場所を作らない(身体距離の確保)
- ・試合待ち時の選手密着の禁止
- ・近距離での会話などの密接場面を作らない

⑦手洗い等の徹底(手洗い・うがいによる対策)

- ・手洗い場所の確保をし、徹底させる
- ・手洗い場所に、石鹸を用意すること

- ・手を拭くタオルやハンカチ等は共有しない
- ・手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ・手洗い時はうがいも励行する
- ・帰宅後は、手や顔を洗い、うがいを行うこと。またできるだけすぐにシャワーを浴び着替えを行うこと

⑧水分補給・食事(熱中症対策も含めて)

- ・マスクの着用により、体内に熱がこもり易くなるので、十分な水分補給を心掛ける。
- ・こまめな水分補給を行うこと
- ・飲水ボトルの共用は避けること
- ・飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- ・練習・試合時に食事をとる時は、お互い一定距離をとること
- ・飲み切れないスポーツドリンク等は指定場所以外に捨てないこと

⑨衛生管理の徹底(消毒による対策とリネン管理の徹底)

- ・トイレについては、消毒をこまめに行うこと(ドアノブ・水洗トイレのレバー等)
- ・トイレ利用後は必ず手洗いをし、自分専用のタオルを使用すること
- ・タオルなどのリネン類の共用は避けること
- ・ビブスは共用しないこと

⑩更衣室、休憩・待機場所

- ・他の選手と密にならないよう、広さにはゆとりを持たせて場所を確保すること
- ・室内を使用する場合は、より密の状態を避けるよう配慮すること
- ・共用の使用物、複数の利用者が触れる場所については、こまめに消毒すること
- ・室内を使用する場合は、十分な換気を行うこと

⑪ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
- ・ペットボトル等は各自で管理し、持ち帰り処分すること

⑫その他

- ・痰や唾を吐く行為は行わないこと

2020 旭カップU11大会要項 2 (新型コロナ禍対策)

・はじめに

2020 旭カップを開催するにあたり、以下のこと代表者会議にて確認

新型コロナ禍での開催である

「感染防止対策」において十分な準備、対応を各チームの責任において行うこと

その上で「感染防止対策」に完全、万全はない「感染へのリスク」を承諾した上で各チームの責任において参加する
上記3項目が骨子となります。

具体的な対策、対応は「YFA4種委員会」より配信された以下の内容を参考に願います

サッカー活動の再開に向けたガイドライン (2020年7月4日)

一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会

《 感染拡大防止対策 》

①健康管理の徹底

以下の事項に一つでも該当する場合は、当日参加しないこと(必ず検温のうえ参加のこと)

- ・平熱を超える発熱
- ・咳(せき)、のどの痛みなど風邪の症状・だるさ、息苦しさ・嗅覚や味覚の異常
- ・体が重く感じる、疲れやすい等
- ・新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

②集合時、試合前等、体調の確認を実施

③健康観察(体温測定、体調チェック)は指導者、保護者も同様の対応をとること

④健康チェックシートの提出

- ・健康チェックシートを記入し、活動責任者へ提出すること
- ・風邪の症状や発熱が4日以上続いたり、だるさや息苦しさがある場合は参加禁止とし医療機関への受診等対応のこと

⑤マスクの持参・着用の徹底について

- ・練習・試合等への行き返りは、飛沫防止の観点により、マスクを着用する。
- また、近距離での会話時はマスクを着用し、大声での指示・応援等は避けること

⑥「3つの密」の回避の徹底

- ・飛沫感染と接触感染に十分注意し、感染要因である三密(密閉・密集・密接)の状況を作らないように配慮すること
- ・車での移動時の換気、空間遮断による濃厚接触を回避すること
- ・多くの人が密集する場所を作らない(身体距離の確保)
- ・試合待ち時の選手密着の禁止
- ・近距離での会話などの密接場面を作らない

⑦手洗い等の徹底(手洗い・うがいによる対策)

- ・手洗い場所の確保をし、徹底させる
- ・手洗い場所に、石鹸を用意すること

- ・手を拭くタオルやハンカチ等は共有しない
- ・手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること
- ・手洗い時はうがいも励行する
- ・帰宅後は、手や顔を洗い、うがいを行うこと。またできるだけすぐにシャワーを浴び着替えを行うこと

⑧水分補給・食事(熱中症対策も含めて)

- ・マスクの着用により、体内に熱がこもり易くなるので、十分な水分補給を心掛ける。
- ・こまめな水分補給を行うこと
- ・飲水ボトルの共用は避けること
- ・飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- ・練習・試合時に食事をとる時は、お互い一定距離をとること
- ・飲み切れないスポーツドリンク等は指定場所以外に捨てないこと

⑨衛生管理の徹底(消毒による対策とリネン管理の徹底)

- ・トイレについては、消毒をこまめに行うこと(ドアノブ・水洗トイレのレバー等)
- ・トイレ利用後は必ず手洗いをし、自分専用のタオルを使用すること
- ・タオルなどのリネン類の共用は避けること
- ・ビブスは共用しないこと

⑩更衣室、休憩・待機場所

- ・他の選手と密にならないよう、広さにはゆとりを持たせて場所を確保すること
- ・室内を使用する場合は、より密の状態を避けるよう配慮すること
- ・共用の使用物、複数の利用者が触れる場所については、こまめに消毒すること
- ・室内を使用する場合は、十分な換気を行うこと

⑪ゴミの廃棄

- ・鼻水、唾液などが付いたゴミは、ビニール袋に入れて密閉して縛り、ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用すること。
また、マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること
- ・ペットボトル等は各自で管理し、持ち帰り処分すること

⑫その他

- ・痰や唾を吐く行為は行わないこと

2020 旭カップU11大会要項 2 (新型コロナ禍対策)

・はじめに

2020 旭カップを開催するにあたり、以下のこと代表者会議にて確認

新型コロナ禍での開催である

「感染防止対策」において十分な準備、対応を各チームの責任において行うこと

その上で「感染防止対策」に完全、万全はない「感染へのリスク」を承諾した上で各チームの責任において参加する
上記3項目が骨子となります。

具体的な対策、対応は「YFA4種委員会」より配信された以下の内容を参考に願います

サッカー競技会開催時の感染防止ガイドライン(2020年7月4日)

一般社団法人神奈川県サッカー協会第4種少年少女部会

1. 事前の対応

大会本部は、会場において感染防止対策に向けた準備を行うとともに、参加チームに対し、感染防止のために選手・スタッフが遵守すべき事項を明確にして事前に連絡し協力を求めることが重要です。

大会本部及び参加チームはそれぞれ感染対策責任者を設置し、事前、試合日、事後に相互に連絡を取り合える環境を構築してください。

《 参加者への連絡事項 》

大会本部が参加予定チームの選手・スタッフに対して事前に求める感染拡大防止のための措置として、以下の項目が挙げられます。大会本部の感染対策責任者は参加予定チームの感染対策責任者に対し、以下の項目を競技会開催前に伝えてください。また運営に関わる役員、会場スタッフ、その他関係者全員に対しても同様に 事前伝達してください。

- ① 以下の事項に該当する場合は自主的に参加を見合わせる
 - ・ 体調が良くない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - ・ 同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる
 - ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② 参加者全員がマスクを着用する
- ③ 参加者全員の健康チェックリストを作成し提出してもらう※
- ④ 競技会に参加する上で大会本部が示す注意事項を遵守してもらう
- ⑤ イベント中に誰とどのくらいの距離で何分くらい話したか、その時にマスクを着用していたかなど、他人との接触状況を記憶しておく。（感染者発生発覚の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

※健康チェックリストには以下の事項を記載してもらってください。（サンプルあり）

- ① 氏名、生年月日、住所、連絡先（電話番号、Emailアドレス）
※個人情報の取扱いに十分注意する
- ② イベント 2週間前から当日までの体温
- ③ 競技会前における以下の事項の有無
 - ・ 平熱を超える発熱
 - ・ 咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状
 - ・ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

- ・ 臭覚や味覚の異常
- ・ 体が重く感じる、疲れやすい等
- ・ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
- ・ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

これらの事項を、事前に参加チームへメール等で展開する。また当日に紙で配布するなど、周知徹底をお願いいたします。

2. 競技会会場における感染防止対策

大会本部は、以下の点に留意して会場の設営、競技会運営を行ってください。

- (1) **諸室** 運営諸室を使用する場合は以下の対応を行ってください。
- ・ 各部屋にアルコール消毒液を設置する。
 - ・ 全てのドア及び窓を開け、3つの密が発生する環境を阻止し、ドアノブを介した接触感染を防ぐ。
 - ・ ドリンクを冷やすためのドブ漬けは使用しない。
 - ・ 座席を設置する際に前後左右1.5～2m間隔をあけ、お互いが正面に座らないよう配慮する。
 - ・ 喫煙所は設けない。
- (2) **手洗い場所** 関係者、参加チームの選手・スタッフ、マッチオフィシャルが競技会の際に手洗いをこまめに行えるよう、以下の対応を行ってください。
- ・ 手洗い場にはポンプ型の液体または泡石鹼を用意する。
 - ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
 - ・ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）
 - ・ アルコール消毒液を設置する。
- (3) **トイレ** トイレについても感染リスクが比較的高いと考えられることから、大会本部は、以下の対応を行ってください。
- ・ 便器の蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
 - ・ 手洗い場にはポンプ式液体または泡石鹼を用意する。
 - ・ 「手洗いは30秒以上」等の掲示をする。
 - ・ 手洗い後に手を拭くためのペーパータオル（使い捨て）を用意する。（布タオルや手指を乾燥させる設備については使用しないようにする。）
 - ・ アルコール消毒液を設置する。
- (4) **ロッカールーム** ロッカールームは3つの密が揃うため、感染リスクが比較的高いと考えられます。大会本部は、ロッカールームを使用する場合、以下の準備を行ってください。
- ・ 広さにはゆとりを持たせ、選手同士が密になることを避ける。
 - ・ ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する別室を用意する、または外部にテントを設置する措置を講じる。
 - ・ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、

- ロッカーの取手、テーブル、椅子、マッサージベッド等) については消毒する。
- ・ 一日に同会場で複数試合を行う場合は、試合終了毎に消毒する。
- ・ 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を開けっ放しにして常時換気を行う。

チームの注意事項

- ・ 選手及びスタッフはマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・ 選手及びスタッフはロッカールームの滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・ 選手及びスタッフはシャワーを交代で使用し、密集を避ける。

(5) 審判控室 大会本部は、審判控室を使用する場合、以下の準備を行ってください。

- ・ 広さにはゆとりを持たせ、審判員同士が密になることを避ける。
- ・ ゆとりを持たせることが難しい場合は、別室を用意する、または外部にテントを設置する措置を講じる。
- ・ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については消毒する。
- ・ 換気扇を常に回す、2つ以上のドア、窓を開けっ放しにして常時換気を行う。

審判員の注意事項

- ・ 審判員はマスクを着用し、会話を最小限に留める。
- ・ 審判員は審判控室の滞在時間を短くするため着替えに限定する。
- ・ 審判員はシャワーを交代で使用し、密集を避ける。
- ・ 審判員同士のミーティングは会場で3密とならないスペース等を探して実施する。

(6) ベンチ ベンチは間隔を空けて座れるよう、テント等で追加ベンチを設置してください。尚、暑熱対策上、屋根なしで椅子を並べるのは不可とします。一日に同会場で複数試合を行う場合は、試合終了毎にベンチの消毒を行ってください。

(7) 来場者対応 感染観察都道府県において観客を入れる、または限定的に入れる判断は、開催自治体の方針に従ってください。公共施設、学校グラウンドを使用する場合は、その施設の決まりを守り、事前通達にそれを記載すること。

事前通達 競技会に観戦者を入れる場合には、観戦エリアにおいて3つの密を避ける対応が求められます。以下の留意事項について、周知を徹底してください。

- ・ 体調の悪い人は来場を控える
- ・ 来場する際はマスクを着用する
- ・ 大声での声援や大旗を使っての応援は行わない
- ・ 場内ではそれぞれ2mの間隔を保ち、ハイタッチ、抱擁、肩を組むなどの行為は控える

試合当日 競技会に観戦者を入れる場合には、以下の点に留意してください。

- ・ 入場時に体調の悪い人への観戦自粛を促すアナウンスを徹底する。
- ・ 場内アナウンス等で、上記「事前通達」事項のアナウンスを随時行い、守らない方には直接注意する。
- ・ 注意しても改善されない場合は退場してもらうなどの措置を講じる。

- (8) **ゴミの廃棄方法** ゴミを収集する際は、マスクや手袋を必ず着用してください。
ゴミはビニール袋に入れて密閉して縛り、廃棄してください。
マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒してください。

(9)大会当日におけるチームへの伝達事項

大会本部の感染対策責任者は、運営に関わる注意事項、チームへの依頼事項として以下の項目を参加チームに伝えてください。

- ・ 試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない
- ・ 両チームベンチへの挨拶を実施しない
- ・ 円陣はしない
- ・ 倒れた選手に手を貸さない
- ・ 得点時にハイタッチ、抱擁を行わない
- ・ ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない
- ・ 口に含んだ水を吐かない
- ・ ボトルを共有しない
- ・ 水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない
- ・ タオルを共有しない
- ・ ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する
- ・ ベンチではマスクを着用し、会話を控える

※上述の伝達事項は、参加チームが競技会参加にあたり留意すべき事項でもあります。
競技会参加にあたって、大会本部感染対策責任者から各チームの感染対策責任者に
事前に伝達するようにしましょう。

これら(1)~(9)を実施しても感染リスクをゼロにすることはできません。大会本部、参加チームは、
その点を理解した上で、競技会に参加してください。

また、各諸室の窓、ドアの開放、運営関係者及びチーム関係者全員にマスク着用を義務化することにより、熱中症を発症するリスクが高まります。こまめな水分補給を心掛けましょう。

3. 事後対応

- ・ 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いに十分注意しながら、競技会当日に参加選手・スタッフ、運営関係者から提出された健康チェックシートを、少なくとも1ヶ月間保存しておくようにしてください。
- ・ 競技会終了後3日以内に、各チームの感染対策責任者に連絡を取り、具合の悪い選手やスタッフがいないか確認してください。
- ・ 万が一運営スタッフの中から競技会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症の感染

が判明した場合は、保健所の指示に従うとともに、主管FAにその旨ご報告ください。

- また、チームから競技会終了後14 日以内に感染者発生の報告があった場合にも、同様にその旨主管FAにご報告ください。